



2018年4月23日

各位

会社名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 船橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社グループ会社の(株)ジェネティックラボにおける 自己採取 HPV 検査サービスの自治体との契約締結について

当社グループ会社の株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市/以下、ジェネティックラボ)は、推進しております自己採取 HPV (ヒトパピローマウイルス) に関しまして、このたび、北海道猿払村と検査委受託契約を締結しましたので、お知らせします。

子宮頸がん^{*1}の原因となる発がん性 HPV^{*2}における一般的な検査方法は、病院において医師による細胞採取によって細胞診と併用で行われますが、ジェネティックラボでは独自に複数の婦人科医療機関に協力をあおぎ、自己採取 HPV 検査の有用性について検証を行いました。その結果、本検査で使用する検査キットによる自己採取法において、医師採取での HPV 検査の判定結果との一致率は 96.5%^{*3}と、ほぼ同等の検査結果が得られております。

また、本検査で使用する解析機器は、FDA (米国食品医薬品局) が承認している機器であり、トランスジェニックグループならではの高品質な検査サービスを提供いたします。

年々健康に対する意識が高まってきている中、子宮頸がん検診の受診率がなかなか上がらない現状には、「近隣に婦人科がない」「時間がなく病院で検診を受けられない」「気恥ずかしい」等様々な理由があると考えております。ジェネティックラボは、自己採取 HPV 検査の提供を通じてこれらの課題を解消し、皆様が定期的に継続して HPV 検査を受け易い環境を提供することによって、また、適切な治療に結び付けていくことによって、女性の健康を守ってまいりたいと考えております。

【契約概要】

自治体名 : 北海道猿払村
検査項目 : HPV リスク検診
検査項目 : 自己採取 HPV 検査
検査実施時期 : 2018年6月予定

◆当社グループ関連サービス :

- ・子宮頸がんにおける液状細胞診と HPV 核酸検出検査 (簡易ジェノタイプ判定)
- ・自己採取 HPV 検査サービス

◆ご参考

※1 子宮頸がん

子宮の入口の子宮頸部に発生するがんで、その多くにヒトパピローマウイルス (HPV : Human

Papillomavirus) の感染が関連することが報告されています。子宮頸がんの罹患数は年間約 10,000 人、死亡数は年間約 2,900 人(地域がん登録全国推計値 2012 年 上皮内がんを除く)です。子宮頸がん検診は非常に有効で、進行がんを防ぎ死亡を減らす効果が証明されています。

※2 発がん性 HPV

ヒトの皮膚や粘膜に感染するパピローマウイルスのことで、そのうちハイリスク型と呼ばれるものは子宮頸がんの原因になると考えられています。

※3 各機器メーカーが推奨する細胞回収容器の仕様によって、検出率は変動することがあります。

◆本件に関するお問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 病理部営業課

〒060-0009 北海道札幌市中央区北 9 条西 15 丁目 28-196 札幌 IT フロントビル 3F

E-MAIL: sales@gene-lab.com <http://www.gene-lab.com/>

以上